

千葉大学公開国際シンポジウム

インターネット・国際電話を使った海外大学との 理系共同研究教育に関するワークショップ

光ケーブルで地球上の離れた2地点をリアルタイムで結んでテレビ会議を行う企業、最新のインターネット技術を駆使してOnlineで授業を行う大学がアメリカを中心に急速に増加し、最近では日本でも幾つかの企業・大学などが取り入れるようになった。しかしながら教育機関にとっては高額なものが多く、情報の氾濫の中から低価格・且つコストパフォーマンスの高いものを選ぶ事が難しく、日本や近隣諸国ではまだまだ一般的には使われていないのが実情である。また、日本ではOnline教育が英語圏ほど盛んでない大きな理由のひとつは言葉のハンディであり、海外留学・研修のできるレベルを目指した語学教育に大学全体としてこれからもっと取り組まなくてはならない。

本集会はその第1弾として千葉大学と海外協定校の学生との間でインターネットや国際電話を使った合同授業・共同研究について日本・海外からの学生・教育陣の参加者同士で広く話し合い、東アジア連携理数系教育プログラム構築を目指す事を目的としている。千葉大学が現在開発中のE-TEAM Learning Systemを用いての共同教育・研究が期待されているが、このシステムのメリット・問題点を話し合い、より効果的な教育研究のプログラムの構築を上海交通大学・ソウル国立大学と共に検討する。

日 時： 2006年1月10日(火) 10:00～17:30
場 所： 千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館大ホール
使用言語： 英 語

プログラム

- 10:00～10:05 開 会
- 10:05～10:20 本シンポジウムの目的
- 10:20～12:20 上海交通大学及びソウル国立大学の国際交流教育実践例紹介
- 12:20～13:30 昼食 (IT・テレコミュニケーション企業からの出展物の展示有り)
- 13:30～16:00 東アジア連携理系交流教育に活かす国際交流教育実践例
東京大学新領域研究科・メディア教育開発センター・千葉大学・モナシュ大学
- 16:15～17:30 パネルディスカッション (参加各機関のスピーカーによる)
これからの東アジア連携交流教育でどのようなプログラム展開が考えられるか
- 18:00～20:00 懇親会 (アジア各国の伝統文化の音楽と踊りの発表会有り) 職員食堂

主催：千葉大学理学部・工学部・園芸学部
共催：上海交通大学・ソウル国立大学

First Circular (English): <http://www.h.chiba-u.jp/kokaikouza/symposium/060110.pdf>

Programs and further information: http://www.h.chiba-u.jp/kokaikouza/symposium/060110_ep.pdf